



田沢湖の初日の出



第 53 号
発行所
秋田市山王7-1-2
更生保護法人
秋田県更生保護援護協会
(編集)
秋田県更生保護編集委員会
(題字)
小熊良悦
(印刷)
(株)アクティス

目次

年頭に当たって..... 1	特定非営利活動法人秋田県就労支援事業者機構... 6
秋田県保護司会連合会会長 目黒 勳	秋田県BBS連盟..... 6
更生保護関係団体の動き	平成22年“社会を明るくする運動”実施行事について... 6
秋田県更生保護援護協会..... 2	栄誉に輝く叙勲・褒章..... 7
秋田県保護司会連合会..... 2	ほっとすぺーす..... 7
謹賀新年..... 2	わんぱく道場 報告者 木村 高寛
秋田至仁会..... 3	平成22年度 保護観察所人事異動 8
秋田県更生保護女性連盟..... 3	保護司の異動..... 8
第43回秋田県更生保護大会 4~5	編集後記..... 8

新年明けましておめでとう御座います。皆様方にはお健やかに新年をお迎えのことと拝察し、心からお慶び申しあげます。本年も秋田県保護司会連合会への協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年も新年早々に新任の保護司13名が辞令を受け、熱心に研修を受けております。ここに適任者発掘にご苦勞された方々に厚くお礼申しあげます。この保護司適任者の発掘については各保護司会とも工夫されておりますが都市部ほど年々難しくなっております。本県では、この対応策として6地区の保護司会に「保護司候補者検討協議会」を設置し、幅広い分野から適任者の発掘を目指すとともにこの協議会を通して保護司活動に対する地域の理解も深めようとしております。この制度は数年の試行期間を経てきているもので、本県においても相応の成果を上げております。来年度は設置数を多くするとの方向にあり、県内へも更なる増設が期待されます。さらに、適任者確保と関連した施策として「更生保護サポートセンター」の設置があります。創設当時は保護観察対象者との面接場所の確保が目的でありましたが、今や単なる面接場所だけでなく、地域の社会復帰支援の拠点として企画調整保護司が常駐し、保護観察終了者・満期釈放者等に



年頭に当たって

秋田県保護司会
連合会会長

目黒 勳



対する住宅・就労情報等の相談や保護司同士の情報交換、関係諸機関・団体との連携の場として、また、一般市民の非行に関する相談など幅広い活動を実施しております。平成20年度に全国で6か所の保護司会に設置され、現在21か所が増えました。これを来年度は大幅に新設するための予算要求をしているとのことであります。先行保護司会の実践報告によれば、当初は設置場所の確保に苦勞したが、現在は更生保護諸活動が地域から受け入れられ、一定の成果を得ているとのことであります。この施策が拡充され、本県にも設置されるよう当連合会としても働きかけて参りたいと思っております。

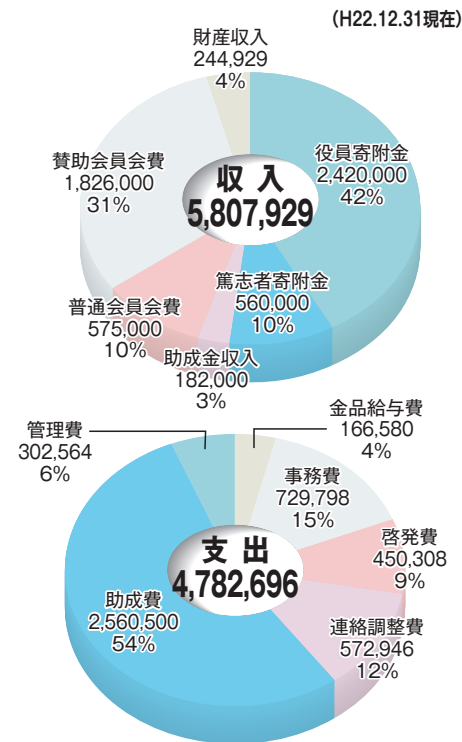
これまでも地域に根ざした更生保護活動を関係機関・団体と展開して参りましたが、これが更生保護活動の拠点として整備されることによって活動の幅が更に広がり、地域社会の理解が一層深まることが期待できる。

本年も地域住民、関係機関・団体と緊密に連携し、犯罪や非行のない明るい社会の実現に向け努めてまいりますので皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、皆様ますますのご健勝とご活躍を祈念申しあげ、年頭に当たってのご挨拶と致します。

更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会



賛助会員募集しております。ご協力くださるようお願いいたします。

篤志者寄附金の御芳名

- 平成二十二年八月以降にご寄附を寄せられた方は、次のとおりとなっております。厚くお礼申し上げます。
- 一金 三十万円
 - 小畑 悟様 古屋 兼光様
 - 秋田銀行様
 - 一金 二十万円
 - 國安 教善様 村岡 兼幸様
 - 村山 儀孝様 沢木 則明様
 - 斉藤 満様 細谷 重直様
 - 加賀谷文秋様 小熊 良悦様
 - 辻 良之様
 - 一金 十万円
 - 八島 國雄様
 - 一金 三万円
 - 佐藤晋一郎様 菊地 俊子様

秋田県保護司会連合会

- ◆第二回理事会
- 日時 平成二十二年九月十七日
 - 場所 秋田保護観察所
 - 主な協議事項
 - ・第四十三回秋田県更生保護大会開催要綱(案)並びに予算(案)について
 - ・平成二十二年年度版保護司名簿発行について
 - ・川村養助顕彰会について(八月四日墓前で供養)

- 磯部 知世様 伊藤 勝子様
- 曹洞宗保護司連合会秋田県支部様
- 一金 二万円
 - 洪谷 直人様

- ・全国版(六十年史)の購入について
- ・協力雇用主と密接な関係を保ちながら、新規開拓等について

◆保護司等中央研修会(顕彰式典)

- 日時 平成二十二年九月二十九日
- 場所 有楽町 朝日ホール

研修会には、柳田稔法務大臣の御臨席のもと全国から保護司・更生保護法人役員約五百五十名の参加。功績のあった保護司等が表彰された。柳田稔法務大臣から「過ちを犯してしまった人々の社会復帰に力を尽くされている皆さんのご苦労は計り知れないものがあることと察しております。」と関係者を労った。

◆東北管内保護司会長・事務局長等会議が仙台市で開催。

- 日時 平成二十二年十一月二十五日(二十六日)

- 場所 仙台市・秋保温泉
- 主な内容と協議事項
 - ・これからの保護司組織の在り方(サポートセンター)の拡充、保護司会の予算、決算書の標準化(二十四

- ・年度から実施)について
- ・各県保護司会連合会の実情について発表と協議。

- ・保護司活動中における財産(家屋等)の消失(放火による)に対し、国においてその被害の回復の補償制度の早期確立等について
- ◎まとめ(講評)
- ・東北地方更生保護委員会委員長、六戸基幸

◆地区保護司会長等連絡協議会

- 日時 平成二十二年十二月二日
- 場所 秋田市河辺「プラザクリプトン」

- 主な協議事項
 - ・社明モデル地区実施結果報告「北秋田・潟上湖東・横手」
 - ・更生保護「地域推進事業」の実施結果報告「能代」
 - ・第四十三回秋田県更生保護大会の実施結果について
 - ・黄色い羽根の購入等の取り組み方について

(文責 田沼)

*謹賀新年



- 秋田保護観察所長 富 樫 豊
- 更生保護法人秋田県更生保護援護協会理事長 小 畑 悟
- 更生保護法人秋田至仁会理事長 村 山 儀 孝
- 秋田県保護司会連合会会長 目 黒 儀 孝
- 秋田県更生保護女性連盟会長 太 田 宥 子
- NPO法人秋田県就労支援事業者機構会長 小 畑 宥 子
- 秋田県BBS連盟会長 大 沢 和 浩

秋田至仁会

秋田至仁会最近の現況

更生保護法が全面施行され、さらなる更生保護事業の展開が期待されているところであるが、厳しい社会情勢が長引く中で、改善更生を必要としている人をできるだけ多く受け入れ、自立更生に導くための処遇を行うことなど、当秋田至仁会も更生保護施設として、一層の役割を担っております。当会の処遇状況として。

平成二十一年四月に厚労省及び法務省等が計画実施の「高齢又は障害により特に自立が困難な矯正施設出所者等を保護する更生保護施設」の指定を受けました。施設としては、保護観察所及び平成二十二年度、秋田県が立ち上げの地域生活定着支援センターと連絡を密にしながら、「高齢又は障害者等」出所者が直ちに福祉による支援を受けることが困難な者の受け入れの促進に努め、更に、受け入れ決定後の福祉への移行準備、社会生活に適應するための指導・訓練を実施する目的で、福祉の有資格職員を採用し、施設内をバリアフリー化など、対応に万全を期している。

しかし、現在の高齢化社会における、一般の高齢者等について、福祉施設への入居等の調整が難航している状況等を考慮した場合、保護観察

所や地域生活定着支援センター等との調整・働き掛けで計画通り福祉による支援が容易でない状況から、施設内処遇が長期化するのではないかと、不安がよぎっているのが、現状である。

秋田県更生保護女性連盟

◆東北地方更生保護女性会員研修会

九月二十九日～三十日、福島県、ホテル聚楽において開催され、本連盟より太田会長他十名の会員が参加しました。主題の「地域のネットワークづくりの実情と課題について」四分科会に分かれてそれぞれの課題について討議された。二日目は、狩野安会長による、講演「今、求められる更女活動」を拝聴しました。

◆更生保護女性会員中央研修会

十月一九日～二十一日の三日間、東京ホテルフロラシオン青山にての開催に能代地区松渕美佐緒会長、二ツ井地区齊藤正子会長が参加する「今、もとめられる更女活動とは」気づき、考え、行動するの主題のもと五部会での討議が行われ、意見発表がありました。

◆秋田県更生保護女性会員研修会

十一月五日、秋田ビューホテルにおいて全県各地区より会員一三三名参加のもと開催されました。東北地

方更生保護女性会員研修会、中央研修会の各分科会の報告、そしてミニ集会活動状況報告(大曲地区)がありました。

依本 悟氏「秋田、市民のメディア研究会」の代表の講演を伺う。演題「コミュニケーションの視座」言葉の概念で縛られた、人間関係の回復、楽しい講演の中、言葉のむずかしさを感じた一刻でした。

「ミニ集会」

モデル地区指定を受けて

大曲地区更生保護女性の会

会員には更生保護ボランティアとしての意識醸成はされていると思っ

ているが、地域社会に向って発すること、浸透する力は弱い存在でした。今回の指定を受けて、否応なしに実践を迫られたことは活性化の好機となりました。

資料作り、企画も共通理解のもと、アイデアを出し合って集会を持ちました。唯、難題は一般の方を集めること。友人、仲間は従来から可能であったが少し広くなると、集まっている所へ出向いて、時間を割いて貰うことで解決するしかありませんでした。社明広報ビデオの活用は設備の関係で使えず考えていた程効果

を生かせなかつた点残念な事でした。子育て支援として数年来継続している幼稚園、保育園へのミニ雑巾贈呈の機会をミニ集会として組み入れて実施できたのは手応えもあり、望外の成功と思っております。それぞれの地域会員が主体となり集まっている保護者と顔見知りでもあり親しみを持って受け入れられ、双方の反応も良く会のPRにも効果的でした。町内老人クラブ総会、サークル活動の会、市内他地区更女会と合同で講演会を開き交流するなど、更に悩む親の相談を受けたいと、ひきこもりや自殺予防について勉強会を立ち上げたり、当初ためらっていた会員が弾みをつけて動くようになったのもプレッシャーを力に変えた結果だと思います。



ミニ雑巾の寄贈

更生保護大会

平成22年11月18日

更生保護は、関係者のためめ
努力により、刑事政策における重
要な一翼を担ってきている。また、
社会風潮の変化や深刻な経済不況
の下ながら、更生保護事業は地域
社会それぞれにおいて着実に進展
が図られており、県民の更生保護
に寄せる関心と期待は大きいもの
がある。

これからも犯罪や非行をした人
たちの改善更生のため、また、更
生保護への地域啓発のために尽力
することにより、安全・安心な社
会づくりの役割を果たすことが強く
求められているものである。

このような情勢の中、県内更生
保護関係約七〇〇余名が、秋田市
文化会館に集い、更生保護事業に
功績のあった者を顕彰するととも
に、これからの更生保護事業の一
層の充実と発展を誓い合った。

大会は柴田県連副会長の開会の
ことばにはじまり、第六十回「社
会を明るくする運動」作文コンテ
ストの入賞者に、秋田県推進委員
長（秋田県知事）より表彰を受
け、そして優秀作品の朗読がしま
った。

最初に小学校の部優秀賞の秋田
市立旭南小学校六年福田美帆さん
から「三つのルール」という題で、



作文コンクール入賞者の皆さん



開会宣言

元気に発表した。
中学校の部の優秀賞、能代市立
第二中学校三年梅田里咲さんは
「十五歳の社会」という題で朗読
をし、堂々として立派だった。
優秀賞の受賞者には「社会を明

るくする運動」秋田県推進委員長
（秋田県知事）から記念の盾が贈
られた。
続いて、中嶋嶺雄氏（公立大学
法人国際教養大学 理事長・学長）
が「グローバル化と日本の教育」
と題して講演。
グローバル化とは、（地球化・
全世界・全体的）「人と情報の国
際交流と世界への貢献（全体的な
経済活動等）」。
二十一年前の中国、天安門事件、
ベルリンの壁の崩壊であり、ソ連
邦崩壊で東西冷戦が終焉、丁度こ
のころから、IT産業の発展によ
り、ヨーロッパにおいても通貨（ユ
ーロ）の流通が始まる。日本は外



中嶋学長による講演

国語が弱いので、諸外国とのコミ
ュニケーションや発信力が低い、
これからは、語学力を付け全世界
に、学生を輩出し、日本・秋田の
情報を広めてほしい。
教養大学には、県内出身の学生
は少ないとのことですが、基礎英
語力に力を入れるべきではないか
と思う。

日本そして、秋田の将来を考え、
子どもに自分の意見を堂々と発言
し、発信することのできる、人材
育成に力を入れることが大事なこ
とである。それが将来、秋田を大
きく飛躍させるための原動力とな
ると願いながら、識見の高い中嶋



記念撮影（法務大臣受彰者等）

第43回秋田県



開会あいさつ

最後に、三浦皓
県保連副会長の閉
会の言葉により第
四十三回秋田県更
生保護大会が盛会
のうちに全日程を
終了することがで
きました。



表彰状伝達



来賓あいさつ



ホール入口前受付



晴天のもと開催

学長の講演に大いに心が動かされ
ました。
顕彰

- 叙勲褒章（更生保護功労）
・瑞宝双光章 三名
- ・藍綬褒章 三名
- 法務大臣表彰 十四名
- 法務大臣感謝状（民間協力者） 一名

- その他
- 保護司 一九五名
 - 内助功労者 二十五名
 - 更生保護女性会員 一四二名
 - 認可事業者等役職員 四名
 - 「社会を明るくする運動」作文
コンテスト優秀賞入賞者 六名

以上の方々にそれぞれ表彰状、
感謝状が授与された。これに対し
て受賞者を代表して大曲地区保護
司会の進藤晃成保護司から丁重な
謝辞があった。

続いて、東北地方更生保護委員
会の宍戸基幸委員長はじめ四名の
方々からご祝辞を頂いた。次に「犯
罪や非行のない明るい社会の実現
は、私たちすべての願いです。（以
下省略）」という大会宣言を藤原興
道県保連副会長が
声高らかに読み上
げ、満場一致で採
択された。

**第44回
秋田県更生保護大会**

平成23年
11月24日(木)
秋田市文化会館 大ホール
にて開催されます

特定非営利活動法人 秋田県就労支援事業者機構

平成二十二年二月十日に特定非営利活動法人秋田県就労支援事業者機構が設立されてから、早いもので一年が経過しようとしています。

設立時においては、秋田県内十二の地区保護司会管内のうち、角館地区が未設立でしたが、平成二十二年十二月二十二日に角館地区雇用主会の設立総会が開催され秋田県内全ての地区に設立されたこととなりました。そして新たに十社の協力雇用主が仲間入りし、当機構の三種会員は、二二九社に増加しました。

事業につきましては、長引く不況の影響もあり、依然として有効求人倍率は低い数値を示しており、協力雇用主が保護観察対象者等の就労の機会を確保する実績はあげているものの助成事業につきましては、実績の上がらない状況にあります。保護観察対象者等の就労を確保し、生活を安定させることで、秋田県から犯罪を減らし、併せて、被害者を減らすという社会的貢献を目的として、引き続き活動の充実を図って行きたいと考えていますので関係機関・団体のご協力やご支援を、今後ともよろしく願います。

秋田県BBS連盟

◆第60回社会を明るくする運動月間

7月1日 秋田駅において第60回社会を明るくする運動駅頭キャンペーンが行われる。

◆キャピック展

7月4日 秋田刑務所で開催。学生会員が多数参加。

◆秋田地区更生保護女性会主催の合同研修会に多数参加

7月28日(水) 秋田市パークホテルにおいて、三者(保護司会、更生保護女性会BBS会)による研修会並びに情報交換会を行う。研修会終了後はビアパーティーで親睦を図る。ワラビ座が来場し、感動と笑顔が会場内に充満する。

◆第63回全国BBS大会・第51回BBS会員中央研修

10月30日～31日に亘り、東京国際オリンピックセンターにおいて、第63回全国BBS大会並びに第51回BBS会中央研修会が行われる。秋田地区BBS会事務局の作間淳平会員が参加。

◆第43回秋田県更生保護大会

11月18日第43回秋田県更生保護大会において四年次の学生2名、秋田保護観察所長から感謝状をいただく。

◆ハング・ルース青年教室

青少年の健全育成・自立支援活動と

秋田保護観察所だより 平成22年“社会を明るくする運動”実施行事について

Table with 7 columns: 行事内容, 秋田県推進委員会 (回数, 参加延人数, うち保護司数), 地区推進委員会 (回数, 参加延人数, うち保護司数). Rows include various activities like 推進委員会議, 街頭広報活動, etc.

して「心のケア」を目的に青年教室を開講。発達障害のある青少年たちと地域の伝統行事、清掃活動やスポーツ、レクリエーション等による交流を行っている。11月には1泊2日の日程(27～28日)で強首温泉(大仙市)旅

行を実施する。少年や利用者からの関心が非常に強く、参加者は総勢で毎月、三十名を超える盛況振り。クルールの名称「ハング・ルース」には「気楽にいこう」の意味がある。

栄誉に輝く叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章
 平成二十二年度秋の叙勲及び褒章を受けられました管内の更生保護関係者の方は、次のとおりです。
 永年の御功労・御功績によりめでたく受章されました皆様からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。
 (敬称略)

瑞宝双光章



海 道 祐 一
 (男鹿保護区 保護司)

更生保護以外の功労

旭日双光章

(地方教育行政功労)
 工 藤 文 雄(秋田保護区保護司)

瑞宝双光章

(消防功労)
 佐 藤 昭 一(秋田保護区保護司)

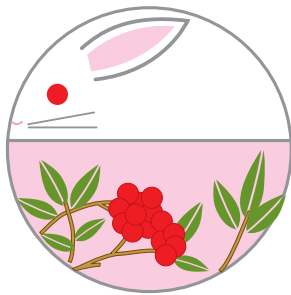
藍綬褒章



古 屋 糸 子
 (横手保護区 保護司)



伊 藤 ユ ミ
 (秋田保護区 保護司)



わんぱく道場

報告者 木村 高 寛

子どもの事件が新聞等をにぎわしています。更生保護育成を考える時、事が起きてからでは遅く、互いに心を痛めます。子どもが暴走しない社会を地域でどう築くのか。

そこで「明るい社会づくりは、人づくりから、人づくりは、自分づくりから」とわんぱく道場を開催しました。

話合いの結果「親子の絆」にスポットをあて、深めてゆくことをテーマにしました。「絆」とは我見、我執を越え、助け合い支えあい、相手のことを思慮し協力し合う関係において生きることです。生きるとは、つながるといことです。そんな自分をつくって行くことができるならば、「明るく豊かな社会づくり」が出来る



ほつとすぺーす

平成二十二年度「更生保護地域推進事業」
 能代地区保護司会 会長 藤井 慶昭

と考え、地区の更生保護女性の会・教育委員会・少年保護育成委員会・商工会青年部等のご指導と後援又、スタッフとして参加頂きました。

「親子の絆」を合い言葉に七月三十一日の一泊二日の日程で梅林寺を会場に開催しました。一日目は開会式が行われ、保護司会会長 藤井 慶昭会長の挨拶に始まり、参加児童の代表が「幸せは 母が私を産んだこと。きょうがよい日であるように、力いっぱいがんばろう」と力強くわんぱく宣言をしました。早速「もう一人の自分と出会う」為、親子で仏像作りや坐禅に取り組みました。時間がたつとともに坐禅のコツを覚え、自分を見つめる世界へと入ってゆきました。夕食後はききだめし大会が行われました。

二日目は、午前五時半に起床。『おはようございます』の挨拶で一日が始まります。挨拶はお互いの無事を祈り、絆をつよく結ぶ言葉です。続いて坐禅に掃除。

二日間の体験を通して、人間が本当の人間になるために、欠かすことのできない心がまえを親子で学びました。心がまえとは、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心です。

多くの方々のお力を得「わんぱく道場」を開催出来ました事に感謝。

平成二十二年 保護観察所人事異動

(敬称略)

転入 (平成22年8月1日付)



馬場 英紀 (新規採用) 処遇部門保護観察官

平成二十二年八月一日付けで採用となり秋田保護観察所処遇部門へ着任しました。私は犯罪や非行のない社会作りの仕事に携わりたいと考え保護観察官を志望しましたが、以前は青森県でプールやスケート場、ホテルが付帯している公共の施設に勤務し、管理運営とスケートやアイスホッケーの指導をしていました。秋田県でも以前勤務したことがあり、本県には何かと御縁があると感じております。保護観察官となりまだ半年ですが、秋田県の更生保護の発展に少しでもお役に立てるよう努力して参りたいと思いますので、皆様方の御指導を賜りますようお願い申し上げます。

転出 (平成22年8月1日付)

佐藤 裕章 (保護観察官)

福島保護観察所いわき駐在官事務所

保護司の異動

新任

次の方が委嘱されました。宜しくお願ひします。今後のご活躍に期待します。(敬称略)

(平成23年1月1日付)

- 伊藤 惣孝 (秋田東)
伊藤 隆 (秋田臨港)
倉田 芳浩 (秋田臨港)
佐々木 攻 (男鹿)
三浦 美智男 (潟上湖東)
金子 孝蔵 (能代)
浅石 喜美子 (鹿角)
齊藤 誠子 (横手)
鈴木 浩子 (横手)
平良木 保 (横手)
戸部 緑 (湯沢)
伊藤 昭人 (角館)
堀井 英和 (角館)

退任

次の方々が保護司を退任されました。長年のご尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後のご健勝を祈念します。(敬称略)

(平成22年12月31日付)

- 北島 伸二 (秋田中央)
金 泰堂 (男鹿)
勝田 忠司 (潟上湖東)
嶋山 哲美 (能代)
宮田 成信 (能代)
新堀 一男 (能代)
谷川原 勝弥 (大館)
片岡 広美 (大館)
久慈 律子 (鹿角)
岩月 盛能 (本荘)
佐々木 テル子 (本荘)
佐藤 良胤 (本荘)
池田 強士 (横手)
山内 昇 (横手)
佐藤 秀治 (湯沢)
伊藤 道嗣 (角館)

慶弔・その他関係 (敬称略)

叙位 (正六位)

故 佐藤 嘉三 (能代)

平成22年11月26日付

叙位 (従六位)

故 渡邊 久雄 (秋田)

平成22年12月15日付

死亡

謹んでご冥福をお祈りいたします。

秋田県更生保護援護協会理事

片岡 紀夫

平成22年9月1日

秋田県更生保護援護協会評議員

渡邊 久雄

平成22年12月15日

秋田至仁会評議員

佐藤 嘉三

平成22年11月26日

編集後記

あけましておめでとございます。ここに第五十三号をお届けいたします。

「千の風になつて」という歌があります。「お墓の中に私はいません」と死者はいうのですが、本気で死者の霊魂がお墓に住んでいると信じている人は少ないでしょう。お墓の中に死者はいなくてもかまいません、いてもかまいません。

考古学的な墓の歴史は別にして、お墓とかお位牌とかは私たち生者の追憶に残る死者の「人格」の象徴なのであります。

葬祭儀礼において大切なのは死者との心の交流であり、会話です。それなら、お墓やお位牌は言葉をかけやすい。風ではとらえようがありません。

櫻田

